

# エコアクション21 環境経営レポート



第7期 令和5年5月1日～令和6年4月30日  
(令和6年6月30日発行)

サンワテック株式会社 **SANWATec**

# 目次

1.	組織概要	1
2.	対象範囲	1
3.	環境経営方針	2
4.	実施体制	3
5.	中期環境経営目標	4
6.	環境経営目標と実績	5
7.	環境経営計画	6
8.	環境経営計画・実施状況	7
9.	実績評価・次年度の取組	8
10.	取組実施状況	9
11.	令和5年度取組実施状況	12
12.	環境関連法規のとりまとめ及び遵守評価	14
13.	代表者による全体の評価と見直しの結果	15

## 1. 組織概要

商号	サンワテック株式会社
所在地	本社 〒879-7761 大分県大分市大字中戸次1540番地1 TEL：097（597）3310 FAX：097（597）3556 E-mail：info@sanwatec.com
設立年月日	昭和62年5月20日
資本金	2,000万円
代表者	代表取締役社長 岩尾雅史
社員数	15名 I級土木施工管理技士・・・5名
建設業許可	大分県知事 許可（特定-5） 第7464号 土木工事業 とび・土工工事業 等
業務内容	法面工事
環境管理責任者 および担当者	環境管理責任者 代表取締役社長 岩尾雅史 事務局 連絡先 TEL： 097（597）3310 FAX： 097（597）3556 E-Mail： info@sanwatec.com

## 2. 対象範囲

認証・登録範囲 全組織・事業活動

### 3. 環境経営方針

#### ●基本理念

私たちはますます深刻化する地域温暖化への対応や、有限である資源の有効利用が人類共通の重要課題と考えています。

建設業における環境負荷の低減や環境に配慮した取り組みを積極的に進めてまいります。

#### ●行動指針

1. 具体的に次のことに取り組みます。

- ①電力・化石燃料などの消費に伴う二酸化炭素排出量を削減する
- ②使用原材料の省資源化、廃棄物の3R（減量、再使用、再生利用）を推進する
- ③水資源を大切にするため節水に努める
- ④原材料及び事務用品のグリーン購入に努める
- ⑤事業所周辺の清掃活動を推進する

これらについて環境経営目標、環境経営活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規制を遵守します。

3. この環境方針は、全社員に周知するとともに社内外に公表します。

4. 継続的に改善していきます。

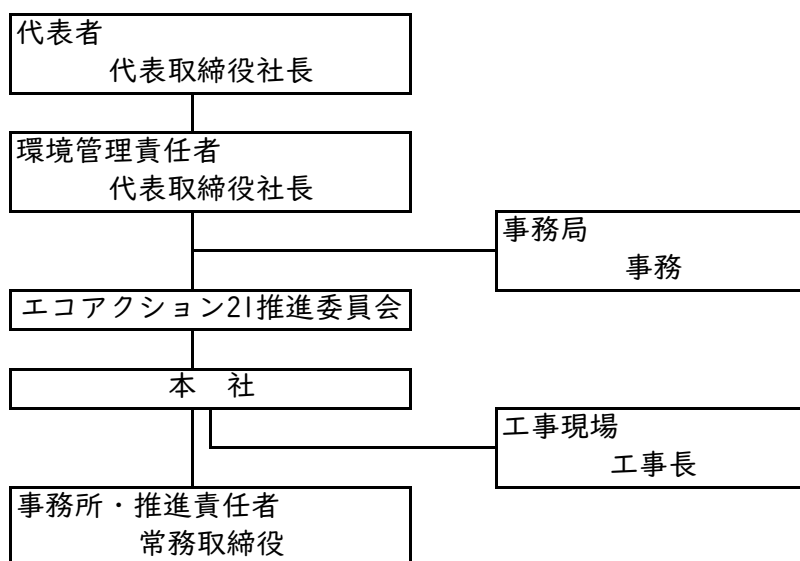
制定日： 平成30年2月1日

サンワテック株式会社

代表取締役社長 岩尾 雅史

## 4. 実施体制

### ① E A2I 組織図



### ② E A2I 役割と責任及び権限

	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境経営に関する統括責任者</li> <li>・ 環境経営に必要な経営資源（人・物・資金）を準備する</li> <li>・ 環境管理責任者の任命</li> <li>・ 環境目標及び環境活動計画、実施体制を承認する</li> <li>・ 代表者による全体の評価と見直しを実施する</li> <li>・ 環境活動レポートの承認</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境経営システムの構築、運用、管理に関する責任者</li> <li>・ 環境経営システムの運用、管理状況を代表者に報告する</li> <li>・ エコアクション21推進委員会の責任者</li> <li>・ 環境関連法規等のとりまとめ表の承認、遵守状況チェック結果の承認</li> <li>・ 各部門の環境目標、環境活動計画、実施体制の確認と全体調整</li> <li>・ 環境上の緊急事態の想定及び対応策の承認</li> <li>・ 問題点の是正及び予防処置の承認</li> <li>・ 環境活動レポートの確認</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境管理責任者の補佐、エコアクション21推進委員会の事務局</li> <li>・ 環境関連文書、記録の管理</li> <li>・ 環境活動に関する実績のとりまとめ</li> <li>・ 外部環境コミュニケーションに関する窓口</li> <li>・ 環境活動レポートの作成</li> </ul>
エコアクション21推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境目標、環境活動計画の伝達</li> <li>・ 社員の意思統一、意見交換及び相互・全体評価の実施</li> <li>・ 各々の実施状況、目標達成状況、問題点などの報告</li> <li>・ 効果的な環境活動に向けての提案・意見の交換</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 環境方針、環境目標などの理解と自らの役割を自覚する</li> <li>・ 自主的、積極的に環境活動に参加する。</li> </ul>

## 5. 中期環境経営目標

各年度の対象期間は5月～翌年4月

環境方針 の番号	選択課題	令和元年度 実績（基準）	令和5年度 目標	令和6年度 目標	令和7年度 目標
1	二酸化炭素排出量	119,850 k g-C O 2	115,056 基準年度比 △4%	113,857 基準年度比 △5%	112,659 基準年度比 △6%
1-1	電力消費量 (電気使用量)	10,458 k W h	10,039 基準年度比 △4%	9,935 基準年度比 △5%	9,830 基準年度比 △6%
1-2	ガソリン消費量 (ガソリン使用量)	13,240 ℓ	12,710 基準年度比 △4%	12,578 基準年度比 △5%	12,445 基準年度比 △6%
1-3	軽油消費量 (軽油使用量)	32,310 ℓ	31,017 基準年度比 △4%	30,694 基準年度比 △5%	30,371 基準年度比 △6%
2	一般廃棄物量 (一般廃棄物量)	77 k g	73 基準年度比 △4 k g	72 基準年度比 △5 k g	71 基準年度比 △6 k g
3	廃棄物排出量 (再資源化率)	100 %	維持 基準年度比	維持 基準年度比	維持 基準年度比
4	水使用量 (水使用量)	38 m <sup>3</sup>	36.4 基準年度比 △4%	36.1 基準年度比 △5%	35.7 基準年度比 △6%
5	グリーン購入の推進	75 %	継続 基準年度比	継続 基準年度比	継続 基準年度比
6	社会貢献への参加	・地域の清掃活動やボランティア参加	12回	12回	12回
		・ペットボトルキャップの収集	毎年	毎年	毎年

電力のCO<sub>2</sub>排出係数は、ズームエナジー 2017年の調整後排出係数0.551 k g-C O<sub>2</sub>/k W hを使用  
 二酸化炭素排出量は都市ガスも含めています  
 都市ガスは排出量が少ないため（0.0%）目標には設定せず管理していきます

## 6. 環境経営目標と実績

各年度の対象期間は5月～翌年4月

環境方針 の番号	選択課題	令和元年度 実績（基準）	令和5年度 目標	令和5年度 実績	目標 達成率
1	二酸化炭素排出量	119,850 k g - C O 2	115,056 基準年度比 △4%	130,365 k g - C O 2	88%
1-1	電力消費量 （電気使用量）	10,458 k W h	10,039 基準年度比 △4%	9,823 k W h	102%
1-2	ガソリン消費量 （ガソリン使用量）	13,240 ℓ	12,710 基準年度比 △4%	9,673 ℓ	131%
1-3	軽油消費量 （軽油使用量）	32,310 ℓ	31,017 基準年度比 △4%	39,731 ℓ	78%
2	一般廃棄物量 （一般廃棄物量）	77 k g	73 基準年度比 △4 k g	68 k g	107%
3	産業廃棄物排出量 （再資源化率）	100 %	維持 基準年度比	100 %	100%
4	水使用量 （水使用量）	38 m <sup>3</sup>	36.4 基準年度比 △4%	28 m <sup>3</sup>	130%
5	グリーン購入の推進	75 %	継続 基準年度比	継続 80%	—
6	社会貢献への参加	・地域の清掃活 動やボランティア参加	12回	12回	100%
		・ペットボトル キャップの収集	毎年	毎年	100%

- ・電力のCO2排出係数は、はズームエネルギー平成29年の調整後排出係数0.551kg-CO2/kWhを使用
- ・都市ガスは使用量が少ないため目標には設定せず、日常で管理していきます

## 7. 環境経営計画

環境方針 の番号	選択課題	具体的な行動（活動）	頻度
二酸化炭素 排出量 削減	1-1 電力消費量削減	1. 冷暖房は適切に利用する。	毎日
		2. O A 機器の電源を退社時に O F F にする。	毎日
		3. 不必要箇所の照明を消す。	毎日
		4. 空調機フィルターの清掃をする。	月/1回
		5. クールビスの推進（事務員用）	
	1-2 ガソリン消費量削減	1. エコドライブの推進。急加速・急停車をしない。	毎日
		2. 不要な荷物を毎日下す。	毎日
		3. 1度の給油を30ℓにする。	毎回
		4. 冬の暖房は A C を切る。	冬場
		5. 空気圧を3kに設定する。	常時
		6. 走行距離を管理し意識の向上を促す。	毎日
	1-3 軽油消費量削減	1. 機械への使用量の調整をして給油。	毎日
		2. 機械を使用しないときは切る。	毎日
		3. 低燃費の機械をリースする。	毎回
		4. エコドライブの推進。急加速・急停車をしない。	毎日
5. 不要な荷物を毎日下す。		毎日	
2	一般廃棄物量	1. ゴミの分別を徹底する。	毎日
		2. リサイクル可能ごみの確認と周知徹底する。	
3	廃棄物排出量	1. ゴミの分別を徹底する。	毎日
		2. リサイクル可能ごみの確認と周知徹底する。	
		3. ゴミ箱見える化の検討。	
4	水使用量	1. 節水シールを貼り意識付けをする。	
		2. 井戸水と水道水の明示。	
		3. 水道代の発表。	2ヶ月/1回
5	グリーン購入の推進	1. エコマーク・グリーンマーク商品の購入を心がける。	随時
		2.	
6	社会貢献への参加	1. 会社周辺のゴミ拾い活動を行う。	月1
		2. ペットボトルのキャップを集める活動に参加する。	



## 8. 環境経営計画・実施状況

○・・・できた  
 △・・・まあまあ  
 ×・・・できなかった

環境方針 の番号	選択課題	具体的な行動（活動）	頻度	事務所	現場
二酸化炭素排出量削減	1-1 電力消費量削減	1. 冷暖房は適切に利用する。	毎日	○	—
		2. O A機器の電源を退社時にOFFにする。	毎日	○	—
		3. 不必要箇所の照明を消す。	毎日	○	—
		4. 空調機フィルターの清掃をする。	月/1回	△	—
		5. クールビスの推進（事務員用）		○	—
	1-2 ガソリン消費量削減	1. エコドライブの推進。急加速・急停車をしない。	毎日	—	○
		2. 不要な荷物を毎日下す。	毎日	—	○
		3. 1度の給油を30ℓにする。	毎回	—	○
		4. 冬の暖房はACを切る。	冬場	—	○
		5. 空気圧を3kに設定する。	常時	—	○
		6. 走行距離を管理し意識の向上を促す。	毎回	—	○
	1-3 軽油消費量削減	1. 機械への使用量の調整をして給油。	毎日	—	○
		2. 機械を使用しないときは切る。	毎日	—	○
		3. 低燃費の機械をリースする。	毎回	—	○
		4. エコドライブの推進。急加速・急停車をしない。	毎日	—	○
5. 不要な荷物を毎日下す。		毎日	—	○	
2	一般廃棄物量	1. ゴミの分別を徹底する。	毎日	○	—
		2. リサイクル可能ごみの確認と周知徹底する。		○	—
3	廃棄物排出量	1. ゴミの分別を徹底する。	毎日	—	○
		2. リサイクル可能ごみの確認と周知徹底する。		—	○
		3. ゴミ箱見える化の検討。		—	○
4	水使用量	1. 節水シールを貼り意識付けをする。		○	—
		2. 井戸水と水道水の明示。		○	—
		3. 水道代の発表。	2ヶ月/1回	○	—
5	グリーン購入の推進	1. エコマーク・グリーンマーク商品の購入を心がける。	随時	○	—
		2.			
6	社会貢献への参加	1. 会社周辺のゴミ拾い活動を行う。	月1	○	—
		2. ペットボトルのキャップを集める活動に参加する。		○	—

## 9. 実績評価・次年度取組

環境方針 の番号	選択課題	評価と見直し結果
二酸化炭素排出量削減	1-1 電力消費量削減	祝日を有休消化に充てたため、事務所の電気使用量が低減できた
		夏場の気温が上昇しているため、今後のエアコンなどの
		電気使用量は上がる見込みではあるが体調管理を優先する。
	1-2 ガソリン消費量削減	使用量を抑えることができた。
		現場の距離により把握は難しいが、意識して管理できている。
		引き続き走行距離の管理を行っていく。
	1-3 軽油消費量削減	現場稼働率が多くなったため使用量が上がった
		今後も、低燃費の機械を使用していく。
		日々の機械点検を行い、無駄をなくしていく。
2	一般廃棄物量	リサイクルできる物は分別することが出来た。
		デジタル化を推進して紙やインクの削減ができた。
3	廃棄物排出量	産廃ボックスを置くことで、分別の意識が高まった。
		継続して続けていきたい。
4	水使用量	前年度は屋根張替え工事の影響で増えたが今年度は
		通常値にもどった。
5	グリーン購入の推進	会社備品を購入する際は、エコマーク商品を意識し購入した。
		購入商品がある程度固定しているので、継続して続けていきたい。
6	社会貢献への参加	ペットボトルのキャップ集めを行っている。
		古切手を集めて動物福祉協会へ送った。
		今後も継続して続けていきたい。

## 10. 取組実施状況

### ・取組実施とSDGs

昨今、いろんな場面で耳にするSDGs（持続可能な開発目標）ですが、弊社がエコアクション21で日々取り組んでいる中、SDGsの取り組みがリンクすることを知り、今回のレポートで、どの取り組みがどの目標に当たるのか、改めてみました。

また今後、SDGs・持続可能な開発目標を、継続し発展していく会社として、エコアクション21とともに取り組んでいきたいと考えています。

取組内容	写真	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
定期的に社員研修を行いEA21への取り組みや作業内での気づきを学びあう					○													
エコドライブのチラシを掲示 一人一人の意識推進								○						○				
社内に毎月の電気・ガソリン・軽油の使用量グラフを掲示								○						○				
「おおいた働き方改革」推進リーダー養成講座に参加									○									
大分市より子育て支援優良企業として表彰された					○													
冬場の寒さ対策・暖房しよう軽減のため、ジャンパーを貸与								○						○				
クールビズ対策・エアコン使用軽減のため、で涼しく軽い素材のポロシャツを貸与								○						○				

取組内容	写真	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
社屋電気をすべてLEDへ変更								○						○					
近隣通学路のカーブミラーを清掃												○							
ワークライフバランスやノー残業デーの促進ポスターを張り、全社員の意識改革を促進									○										
公益財団法人日本動物福祉協会へ使用済み切手の送付 ※毎年																	○		
大分県公安委員会による法律第14条第2講に規定する講習を受講																		○	
大分子育て応援団認定を取得（令和元年） ※更新中						○													
事務用の社用車をガソリン車から電気自動車へ変更								○		○		○		○					
障害者雇用優良中小事業主・基準適合事業主（もにす認定）を取得（令和5年4月）										○		○							
ユースエール認定を取得（令和2年8月） ※更新中									○		○								

取組内容	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
社員の健康増進対策の推進（健康診断・毎年）			○					○										
水と井戸水の管理・適切使用への声掛け						○												
休暇制度の整備（育児・介護休暇・子供の看護休暇）					○			○		○								
雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った公正な待遇					○			○		○							○	
県内支援学校から実習生の受け入れ								○		○								
週休2日制の導入(R4年4月より)								○										
地元地域の春祭りへ寄付																		○
社内電気は不要時は消灯								○										
グリーン商品をできるだけ選ぶ												○						
書類によってはコピー済み用紙の裏を使う								○				○						

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 11. 令和5年度 取組実施状況

### 夏場

#### 暑さ対策

夏場の現場作業での暑さ対策で空調服を貸与しました。  
冷感スプレーや、塩飴、干し梅、経口補水液などの用意をしました。



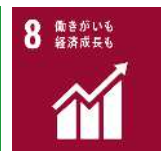
会社からの取組と、各人の  
体調管理や安全確認により、  
今年も熱中症発症者は  
いませんでした。



### 8月

#### 安全大会開催

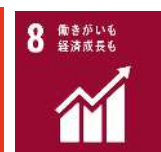
全社員と協力会社の方々と共に、事故や災害から身を守るため、  
さらに健康でいるための理解を深める会となりました。



### 10月

#### 育児休業取得

男性社員Iさんが育児休業を取得しました。  
社員の仕事と育児の両立を支援するため育児休業制度を  
積極的に活用しています。  
男性社員の育児休業取得は3例目となります。



## 有給休暇取得

	取得率	日数
50代 社員	105.0%	21.0
40代 社員	42.5%	8.5
40代 社員	60.0%	12.0
20代 社員	120.0%	24.0
20代 社員	115.0%	23.0
50代 社員	30.0%	6.0
20代 社員	112.5%	18.0
20代 社員	114.3%	16.0
20代 社員	157.1%	22.0
20代 社員	108.3%	13.0
40代 社員	137.5%	27.5
40代 社員	137.5%	27.5

令和5年度は有給休暇の取得率101%、取得平均18日でした。

家族との時間や趣味など、それぞれ有意義に使用しています。



## 12. 環境関連法規のとりまとめ及び遵守評価

評価日：令和5年5月31日

評価者：岩尾雅史

法規制	適用内容	遵守事項	頻度	記録	遵守評価
産業廃棄物 処理法	産業廃棄物の保管	1. 表示板の設置	常時		○
		2. 清掃、漏えい防止	1回/週		○
	委託契約書	1. 委託契約書（書面）	契約時	委託契約書	○
	マニフェスト管理	1. マニフェストの発行・管理	処理委託時	マニフェスト	○
		2. 各票の受領確認	発行後	マニフェスト	○
	産業廃棄物管理票交付等状況報告書	1. マニフェストの集計		産業廃棄物管理票交付等状況報告書	○
2. 産業廃棄物管理票交付等状況報告書提出		期末		○	
家電リサイクル法 PCリサイクル法	テレビ・エアコンの廃棄・PC 周辺機器の廃棄	1. 廃棄時の適正処理 （発生時のみ）	支払時	領収書	該当なし
		2. リサイクル料支払い （発生時のみ）	廃棄時	業者報告書等	該当なし
自動車リサイクル法	社有車の適切な廃棄	1. 廃棄時の適正処理 （発生時のみ）	支払時		該当なし
		2. リサイクル料支払い （発生時のみ）	廃棄時		該当なし
建設リサイクル法	建設（土木）工事に係る資材 の再資源化の促進	1. 工事に係る分別、再資源化の実施	対象工事実施時		該当なし
		2. 対象工事の7日前までの市町村長への届出			該当なし
		3. 再資源化完了の書面報告			該当なし
フロン排出抑制法	業務用の空調設備	1. 対象の空調設備全ての危機の簡易点検	1回/3ヶ月	点検の記録	○
		2. 廃棄時の適正処理 （発生時のみ）		取引書、領収書等	該当なし

### 苦情発生の有無

期間中の関連法規法令違反はありませんでした。  
また、指摘、訴訟、苦情等もありませんでした。



### 13. 代表者による全体の評価と見直しの結果

会社名	サンワテック株式会社		
見直し実施日	令和6年5月31日		
出席者	全社員		
	環境情報	環境管理責任者の所見	代表者のコメント
1. 環境関連法規等の遵守状況確認結果表		法令違反・苦情無	維持継続
2. 環境経営目標の達成状況		概ね達成	日々の積み重ねを意識する
3. 環境経営計画の実施状況		計画通り実施できた	維持継続
4. 問題点の是正、予防の状況		工具の選定について	作業効率の向上で機械使用率の低減に繋がる
5. 外部からの苦情の有無及び対応結果		無し	維持継続
6. 環境上の緊急事態の訓練		災害発生時の対応	第一に身を守る行動を心がける
7. その他			

見直しの必要性判断と代表者の指示	
①環境経営方針	維持継続
②環境経営目標・計画	新たな取組の導入、数値見える化の維持
③環境経営システム	維持継続
④実施体制	維持継続
その他の指示	週休二日制移行による、生産性の意識・充実した休日の過ごし方